

農林水産大臣  
野村 哲郎 様

2023年4月17日  
生活クラブ事業連合生活協同組合連合会  
会長 村上 彰一

### 食料安全保障を進めるための酪農家への支援に向けた政策提案

日頃より、生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を未来の子供たちに継承していくことを使命として、常に国民の期待を正面から受け止め時代の変化を見通して政策を提案し、その実現に向けて全力で行動されておられることに敬意を表します。

生活クラブ事業連合生活協同組合連合会は北海道から兵庫県まで約42万世帯の組合員が集い1,000億円以上の事業規模の消費生活協同組合です。わたくしたちは、50年以上に及ぶ事業活動を通じて生産者と消費者との対等互恵な関係に基づき、国産の原料や食材を中心に共同購入事業を進めてきており、現在に至ります。

さて現在、気候危機、穀物の需要拡大、ウクライナ侵攻や円安などにより農家の生産資材や燃料費などが驚くべきスピードで高騰しています。また国内における生乳需要量は、ここ10年で4%も低下しております。一方で2015年のバター不足により国のクラスター事業を始めとした酪農業支援策として乳量の拡大を進めてこられました。しかし、コロナを契機に牛乳を中心とした需要が低下し、とりわけ年末年始やゴールデンウィークなどの長期休みの際には乳あまりという社会現象となっております。このことは酪農家の経営のひっ迫につながっております。

今のままでは牛乳、乳製品における食料安全保障を未来の子供たちに継承していくことができないことから酪農業における、緊急かつ持続的な支援を求める政策提案を提出いたします。

1. 食料安全保障の視点に基づき、農家の戸別所得保障制度（生産費が販売費を上回った際の差額を補填することや、単価固定方式などの制度）を確立してください。アメリカ農業法で運営されている「酪農利幅補償（Dairy Margin Coverage・DMC）プログラム」など優れた海外の仕組みを参考に持続可能な生産が危ぶまれている酪農業については早急な対応が必要です。
2. 脱脂粉乳の在庫が過剰となっております。カレントアクセス（13.7万トンに及ぶバターや脱脂粉乳などの指定乳製品の輸入量）の運用見直しをすすめるとともに、加工時に発生する脱脂粉乳の保管施設の建設やアフリカなど飢餓が深刻な国々へ輸出できるような製品製造の費用負担をすすめてください。
3. 2030年国産粗飼料100%に向けた粗飼料生産の推進、みどりの食料システム戦略の推進に向け耕畜連携への支援を具体化してください。スイスでは、糞尿を堆肥とし土壌に閉じ込めることでCo2排出量が削減できるという研究結果が出ています。

以上